

Title	MC/蛍光-HPLCに関する基礎的研究
Sub Title	
Author	磯尾, のぞみ( Takai, Nobuharu) 余田, 知子( Nagata, Yoshiko) 黒松, 勇蔵( Sugata, Setsuro) 増田, 春彦( Matsushima, Yoshikazu) 高井, 信治( Sakuma, Ichiro) 一条, 敏博( Dohi, Takeyoshi) 加藤, 正明 永田, 佳子 菅田, 節朗 松島, 美一 佐久間, 一郎 土肥, 健純 舟久保, 照康
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1984
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.29 (1984. ) ,p.112- 112
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000029-0121">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000029-0121</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

この充填剤の性質は基体より化学修飾された基に大きく依存する。ゲル構造を持たないので機械的に強く、孔径分布も小さいので、選択性の大きい充填剤の得られる可能性が示唆された。

\* 東京大学生産技術研究所

### MC/蛍光-HPLCに関する基礎的研究

磯尾のぞみ, 余田知子, 黒松勇蔵\*, 増田春彦\*, 高井信治\*,  
一条敏博\*, 加藤正明\*, 永田佳子, 菅田節朗, 松島美一,  
佐久間一郎\*\*, 土肥健純\*\*, 舟久保熙康\*\*

〔第27回 液体クロマトグラフ研究会 (1984年2月, 京都) で発表〕

高速液体クロマトグラフィー (HPLC) のデータ処理およびデータ解析を内蔵のマイクロコンピュータにより行うことは一般的な事となった。しかし、指定以外の処理や新たなプログラムを作動させることは現状では難しい。そこで、市販のパーソナルコンピュータを利用して、インターフェースを新たに設計して、HPLCよりの分析データの取得とそのデータ処理を試みた。

HPLC 検出器に通常通り記録計を接続し、クロマトグラムを書かせる。同時に、A/Dコンバーターを介してマイクロコンピュータに接続されており、検出器からでるアナログ信号はA/Dコンバーターによりデジタル信号に変換されコンピュータに入る。A/Dコンバーターの動作はコンピュータからの信号で制御されている。データはデータファイルとしてミニフロッピーディスクに保存され、後に色々なデータ処理を行うことができる。

試作したインターフェース、パーソナルコンピュータ PC-8001 MkII を HPLC に接続し、プロスタグランジンの蛍光法による分離定量を試みたところ、高感度で、満足すべき結果を得た。

\* 東京大学生産技術研究所

\*\* 東京大学工学部

### 腫瘍親和性を示す<sup>57</sup>Co-エチレンジアミン-N,N-ジ酢酸の組織および細胞内分布

加留部善晴\*, 三浦純子\*, 増井治憲\*, 松島美一

〔日本薬学会 第104年会 (1984年3月, 仙台) で発表〕

〔目的〕 担がん動物にエチレンジアミン-N,N-ジ酢酸 (EDDA) の <sup>99m</sup>Tc, <sup>57</sup>Co および <sup>57</sup>Co オキソ錯体を投与すると放射能が腫瘍に集積し良好なシンチグラムを与えた。これらの錯体の腫瘍集積機序の解明を目的として、オキソ-<sup>57</sup>Co EDDA 錯体の血液・組織内分布を調べた。

〔方法〕 ラットに  $\mu$ -オキソ-<sup>57</sup>Co EDDA 溶液を静注し、1時間後ヘパリン採血して、その血液